

## 令和2年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者の決定

令和2年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者が、令和3年3月19日の理事会において下記のとおり決定いたしました。

### 記

#### 【「地盤工学会誌」年間最優秀賞】

受賞業績名／業績発表文献	受賞者名
「宅地地盤評価に関わる技術的問題（SWS試験による宅地地盤の評価技術）」 ／2020年2月号掲載（論説）	大島 昭彦（大阪市立大学大学院）
●授賞理由：本記事は、宅地地盤評価の標準となっているスウェーデン式サウンディング（SWS）試験に関わる技術的な問題点を提起し、新たな相関式や評価技術について大変有益な内容を論述されており、特集テーマの論説としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	

#### 【「地盤工学会誌」優秀賞】

「道路土工構造物の点検と防災：第2章 道路土工構造物の点検について」 ／2020年4月号掲載（講座）	八嶋 厚（岐阜大学） 村田 芳信（岐阜大学）
●授賞理由：本記事は、道路土工構造物における防災点検の経緯を、過去の事例を踏まえて記述されています。点検時の心構えや着眼点についても解説されており、実務に携わる技術者や研究者のみならず、学生にとっても大変有益な講座であり、多くの読者に支持されました。	
「基礎構造物の再利用とその問題点」／2020年10月号掲載（論説）	長尾 俊昌（大成建設技術センター）
●授賞理由：本記事は、基礎構造物の既存杭の取り扱い・再利用の方法や手順、適用事例について非常に具体的かつ分かりやすく記述されています。既存杭を撤去する際の問題点についても紹介され、特に実務者にとって有益な内容が論述されており、特集テーマの論説としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	

（注：敬称略，受賞者の所属は掲載当時）